

東証プライム : 8551

個人投資家さま向け オンライン会社説明会

2023年8月22日

1. 当行の概要	…	2
2. 決算概要・業績予想	…	6
3. 中期経営計画・10年ビジョン	…	1 3
4. 株式関連情報	…	2 2
5. サステナビリティ	…	2 5
6. 各種係数	…	3 1

1. 当行の概要

1. 当行の概要 (プロフィール)

プロフィール		
名 称	株式会社 北日本銀行	The Kita-Nippon Bank, Ltd.
設 立	1942年2月2日	
本 社	岩手県盛岡市中央通一丁目6番7号	
預 金 残 高	1兆4,045億円	
貸 出 金 残 高	1兆 414億円	
経 営 理 念	地域密着 健全経営 人間尊重	
従 業 員 数	801人	
格 付	A- (日本格付研究所)	

○店舗ネットワーク

(残高は単体、2023年3月末現在)

岩手県※	57店舗	(うち10店舗が店舗内店舗)
青森県	5店舗	(うち3店舗が店舗内店舗)
秋田県	2店舗	
宮城県	10店舗	
福島県	2店舗	
東京都	1店舗	
合 計	77店舗	

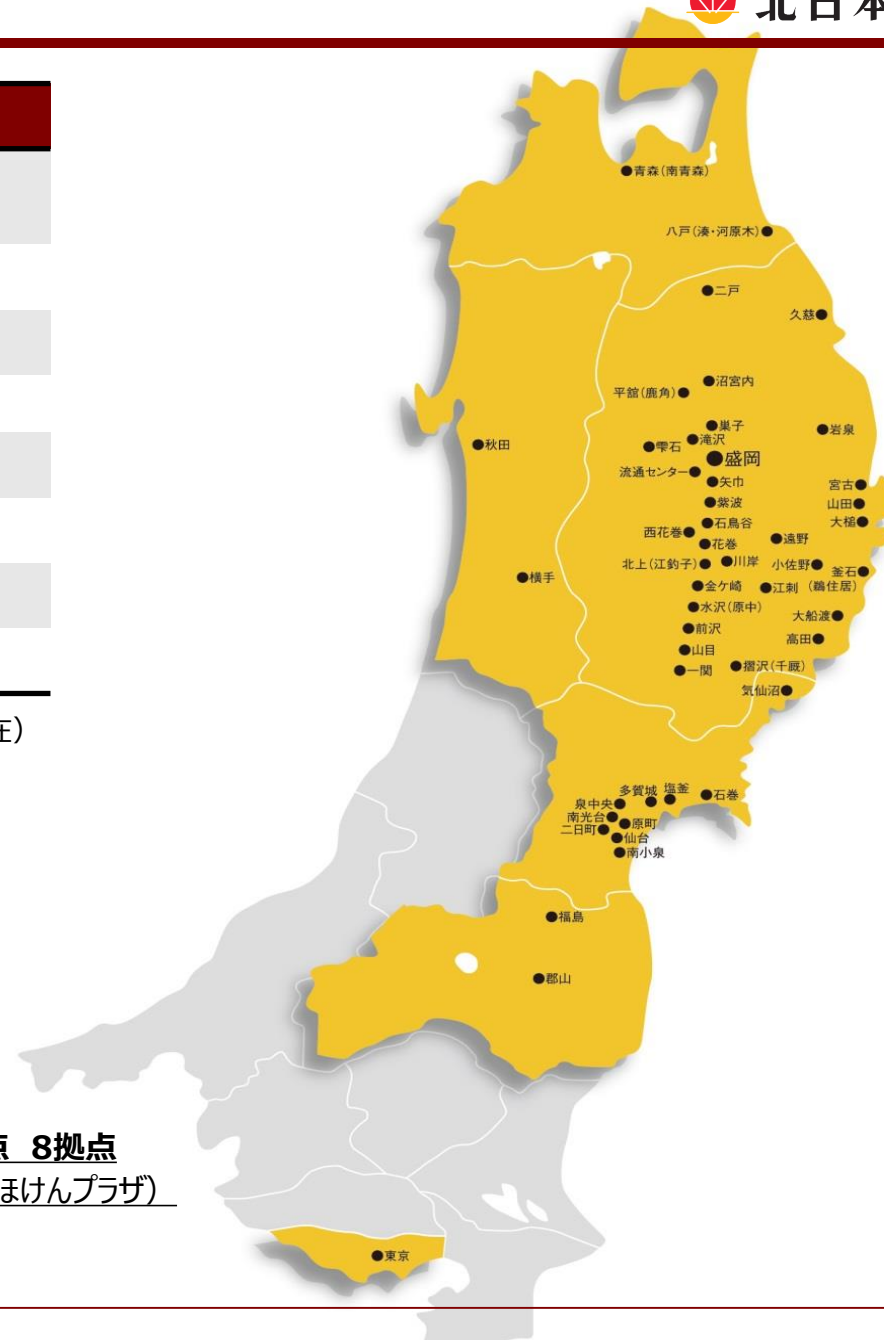
※イターネット支店・イターネット外支店を含む

(店舗内店舗及び無人店舗除き 62店舗)

(2023年7月末現在)

○他相談専門拠点 8拠点

(ローンプラザ、ほけんプラザ)



岩手県の基礎データ

面積：15,275㎢ (全国2位)
 人口：1,180,512人 (全国32位)
 農業産出額：2,651億円 (全国10位)
 海面漁業漁獲量：79千トン (全国11位)
 【主な特産品：全国シェア】
 生うるし：82.1% (全国1位)
 ホップ：46.8% (全国1位)
 まつたけ：15.4% (全国2位)
 さんま：12.5% (全国2位)

出所：岩手県勢要覧、農林水産省「令和3年農業産出額及び生産農業所得」、「令和3年漁業・養殖業生産統計」

岩手県出身の主なスポーツ選手

大谷 翔平 (MLB)
 菊池 雄星 (MLB)
 佐々木 朗希 (NPB)
 小林 陵侖 (スキージャンプ)

地域別産業特性



ニューヨークタイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に「盛岡市」が選ばれました！



2023年1月アメリカのニューヨークタイムズ紙が2023年に行くべき52カ所を発表し、イギリスの首都ロンドンに続く2番目に盛岡市が紹介されました。

記事では盛岡市を「歩いて回れる宝石的スポット」と高評価。東京から新幹線で数時間で行ける便利さ、大正時代に建てられた和洋折衷の建造物、盛岡城跡公園、こだわりが詰まったコーヒー店、わんこそばのお店、ジャズ喫茶などが紹介されている。



※紹介されたコーヒー店「NAGASAWA COFFEE」様は北日本銀行YouTubeチャンネルでもご紹介しております。

2.決算概要・業績予想

▶ 住宅ローンが引き続き好調に推移したことなどから2期連続の増収増益決算。

(単位：百万円)

	22年度実績		21年度 実績
		増減	
経常収益	20,006	21	19,985
業務粗利益	15,666	225	15,441
資金利益	16,042	△ 20	16,062
うち貸出金利息	12,260	204	12,056
うち有価証券利息配当金	3,593	△ 120	3,713
役務取引等利益	236	73	163
その他業務利益	△ 612	172	△ 784
うち国債等債券損益	△ 654	216	△ 870
経費 (除く臨時処理分) (△)	11,761	△ 28	11,789
うち人件費(△)	6,071	108	5,963
うち物件費(△)	4,919	△ 156	5,075
実質業務純益	3,905	253	3,652
コア業務純益	4,559	36	4,523
除く投資信託解約損益	4,560	6	4,554
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	982	△ 128	1,110
業務純益	2,922	380	2,542
臨時損益	375	115	260
うち不良債権処理額(△) ②	△ 15	△ 52	37
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-
うち償却債権取立益 ④	50	8	42
うち株式等関係損益	△ 36	83	△ 119
経常利益	3,298	496	2,802
特別損益	△ 53	106	△ 159
税引前当期純利益	3,244	602	2,642
法人税等(△)	668	256	412
当期純利益	2,576	347	2,229
実質与信費用(△) (=①+②-③-④)	917	△ 188	1,105

経常収益

貸出金利息収入が増加したことなどから前期比21百万円増加
▶ 住宅ローンが引き続き好調

業務粗利益

役務取引等利益や国債等債券損益が増加したことなどから前期比225百万円増加
▶ 法人関係役務手数料収入が増加

実質業務純益

業務粗利益の増加や経費の減少などにより前期比253百万円増加

当期純利益

実質業務純益が増加したことに加え、実質与信費用減少したことなどから前期比347百万円増加

本業利益の推移

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期	23/3期
貸出金平残×預貸金利回り差 + 役務取引等利益	11,565	12,119	12,409
経費	11,849	11,789	11,761
本業利益	△284	330	648

本業利益 = 貸出金平残 × (貸出金利回り - 預金利回り) + 役務取引等利益 - 経費

2.2022年度決算概要（主要な経営指標①）

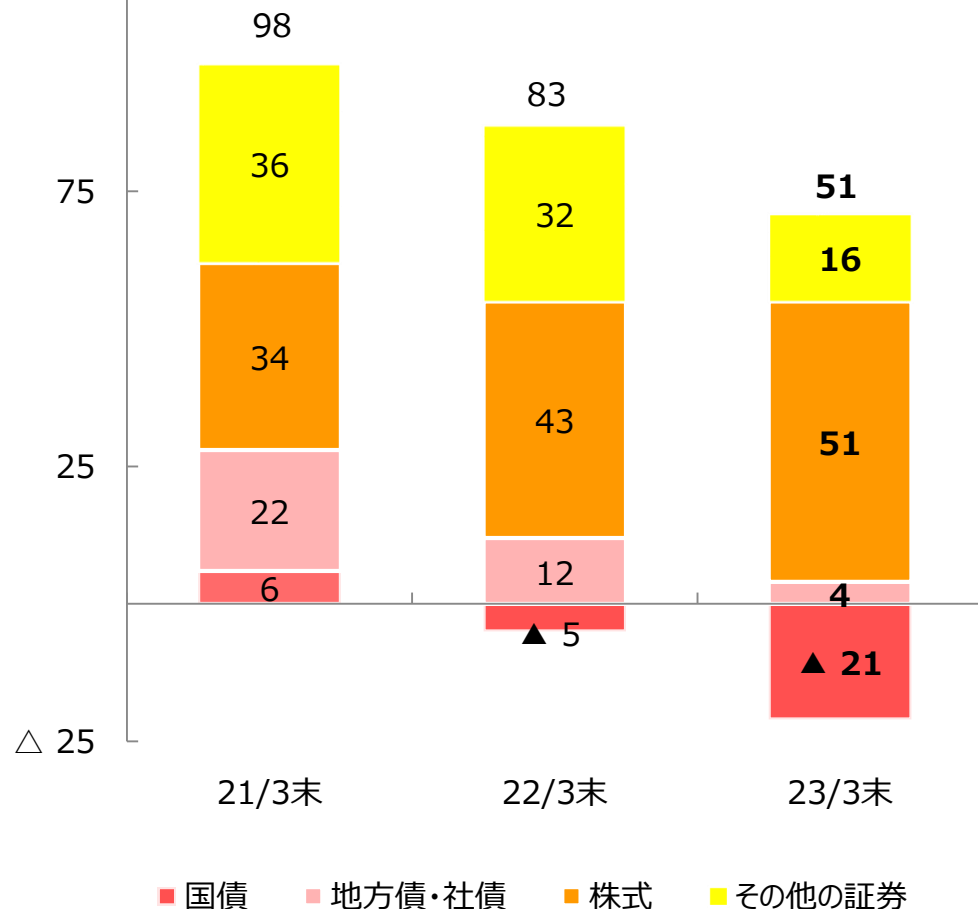
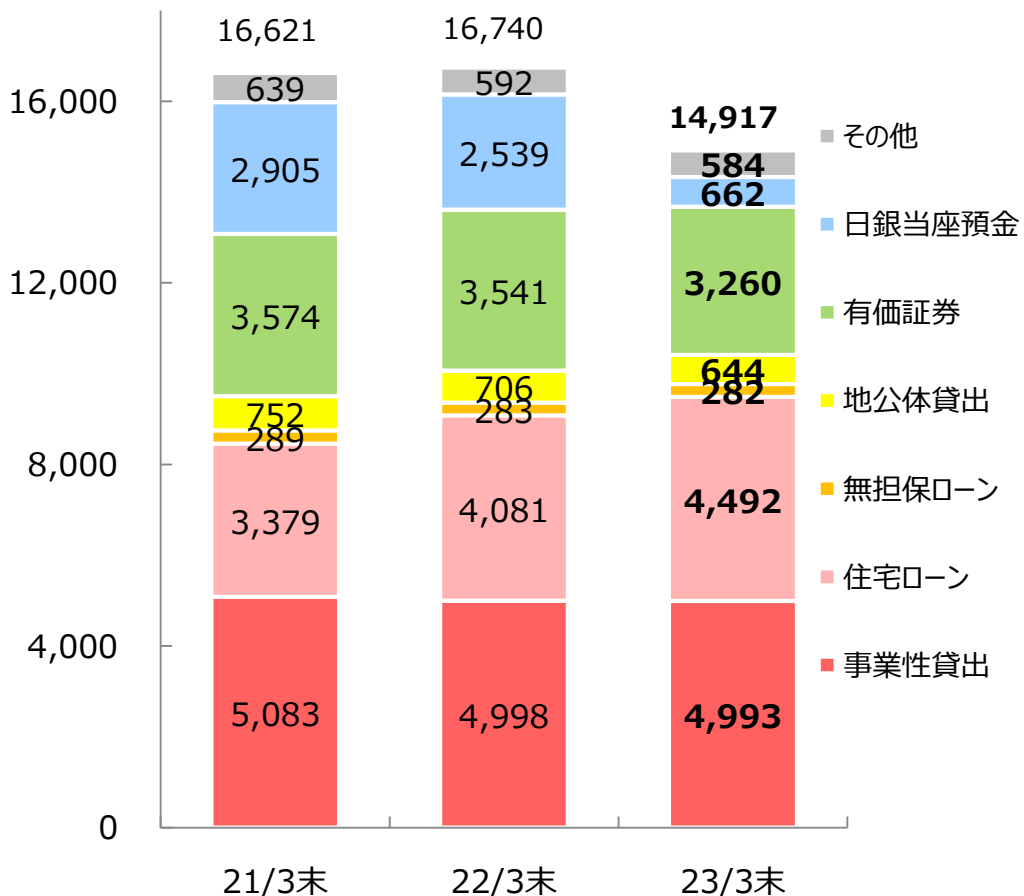
- ▶ 住宅ローンが好調に推移し残高が増加。また、日本銀行からの借入減少に伴い、日銀当座預金残高が減少。
- ▶ 有価証券評価損益は昨年度末比減少したものの、評価益を確保。

運用資産ポートフォリオの推移

有価証券評価損益の推移

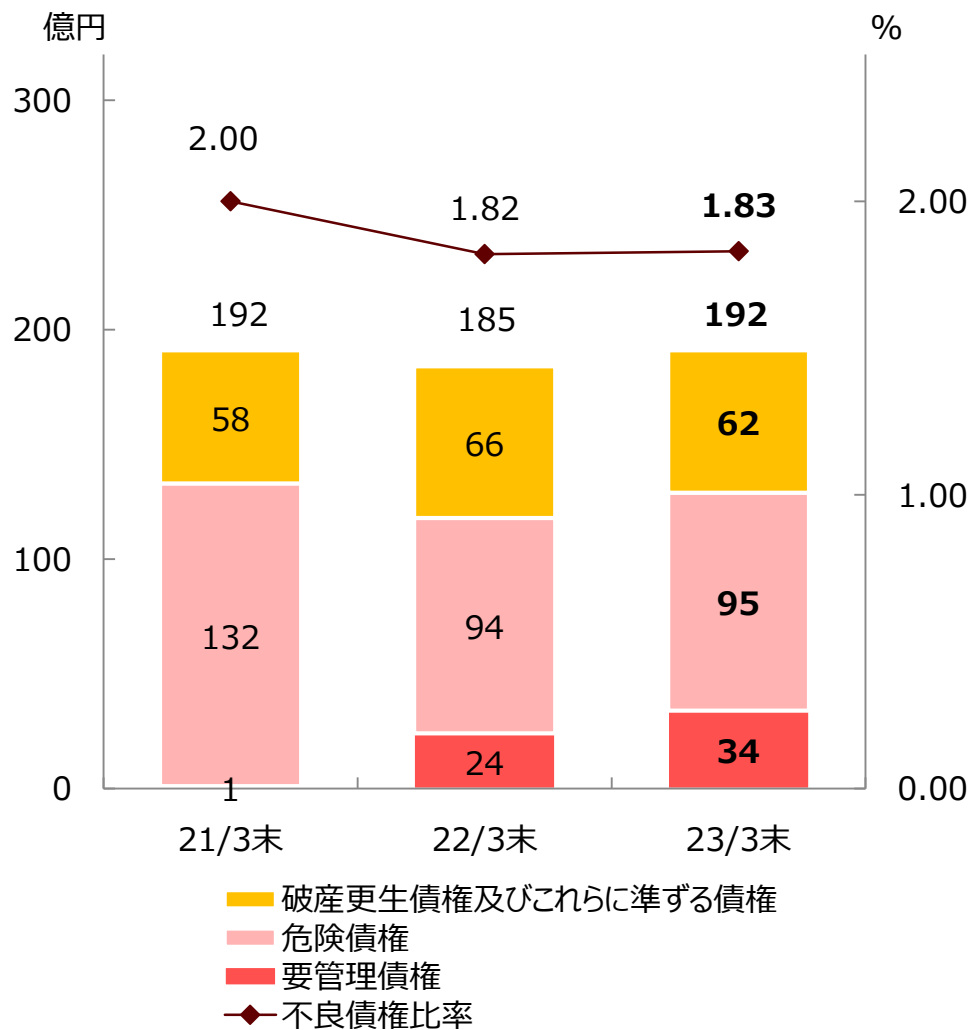
億円

億円

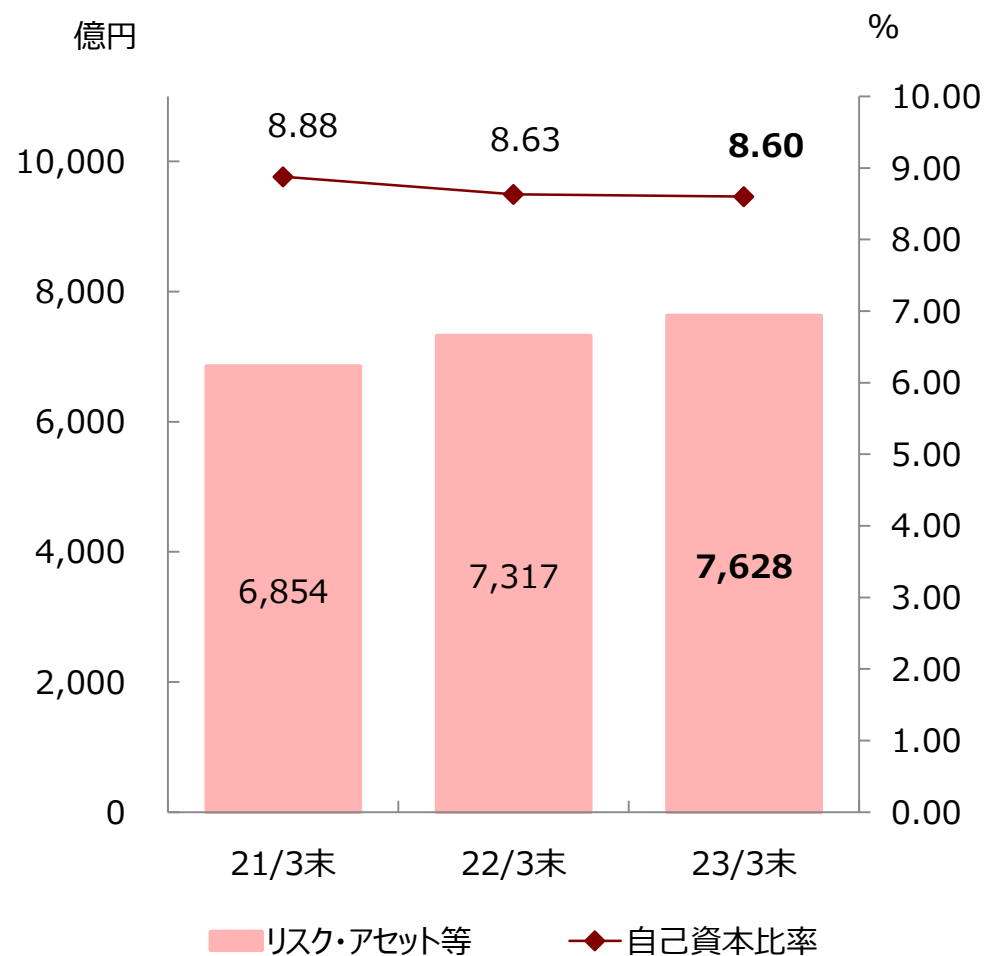


▶ 不良債権比率、自己資本比率は安定した水準を維持。

不良債権（金融再生法開示債権）残高の推移



自己資本比率の推移



➤ 2020年12月にリリースした新商品の**住宅ローンASUMO**の販売が好調

新商品の特徴

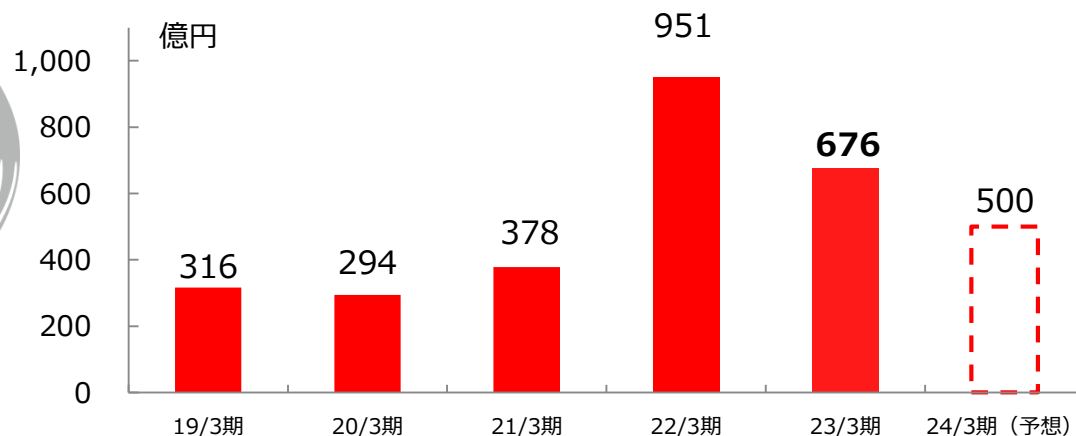
融資期間40年
と長期の返済に
対応

マイカーローン等
の消費性融資を
住宅ローンに包
括可能

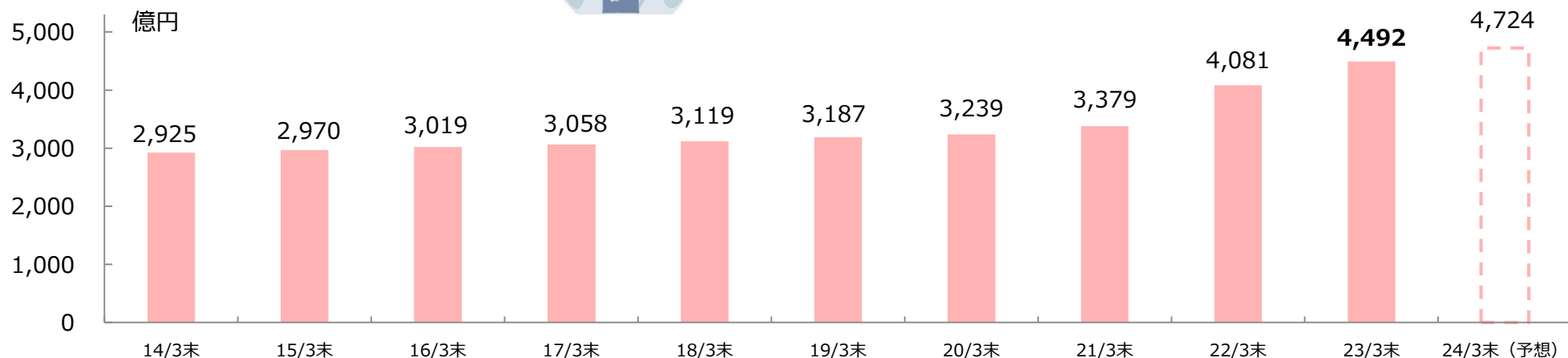
ワイドな商品基
準（年収等柔
軟に対応）



住宅ローン新規実行額



住宅ローン残高



➤ スマートフォン専用アプリ「Wallet+(ウォレットプラス)」の導入および、金融サービスプラットフォーム「iBank事業」への参画

デジタルマーケティングの高度化

2022年2月ふくおかフィナンシャルグループ (F F G) 傘下のiBankマーケティングと資本業務提携



- ◆ iBank事業に資する人材交流、その他関連する業務提携
- ◆ 同社の運営するスマートフォンアプリ「Wallet+」導入
- ◆ 「Wallet+」を通じたデジタルマーケティングの高度化を推進

2023年3月にリリースしたWallet+の主な機能



※ 残高照会、収支管理に加え目的預金機能や地域総合商社サービス機能を搭載

iBank事業の概要



『iBank』はスマホ/モバイルファースト時代に即した新しい顧客体験・価値を提供することを目的に、金融と非金融をつなぐマネーサービスとしてiBank社と共同で展開する事業



2.2023年度業績予想

(単位：百万円)

	24年3月期		23年3月期
	予想	増減	実績
経常収益	19,500	△ 506	20,006
コア業務粗利益	16,000	△ 312	16,312
うち資金利益	16,000	△ 42	16,042
うち役務取引等利益	0	△ 236	236
経費（除く臨時処理分）（△）	12,900	1,139	11,761
うち人件費（△）	6,000	△ 71	6,071
うち物件費（△）	5,900	981	4,919
コア業務純益	3,100	△ 1,459	4,559
国債等債券損益	100	754	△ 654
株式等関係損益	△ 100	△ 64	△ 36
実質与信費用（△）	500	△ 417	917
その他臨時損益	500	154	346
経常利益	3,100	△ 198	3,298
特別損益	△ 100	△ 47	△ 53
税引前当期純利益	3,000	△ 244	3,244
法人税等（△）	800	132	668
当期純利益	2,200	△ 376	2,576
(連結)			
親会社株主に帰属する当期純利益	2,300	△ 359	2,659

※上記業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提とした判断及び予測に基づき算出した見通しであり、今後、経営環境の変化等により、業績予想が変更となる可能性があります。

経常収益

株式売却益や役務取引等利益の減少を見込み前期比5億円減少の195億円を予想

経常利益

国債等債券損益や実質与信費用の減少を見込んでいるものの、システム投資等により経費は増加することから、前期比1億9千万円減少の31億円を予想

当期純利益

前期比3億7千万円減少の22億円を予想

3.中期経営計画・10年ビジョン

10年ビジョン（2020/4～2030/3）

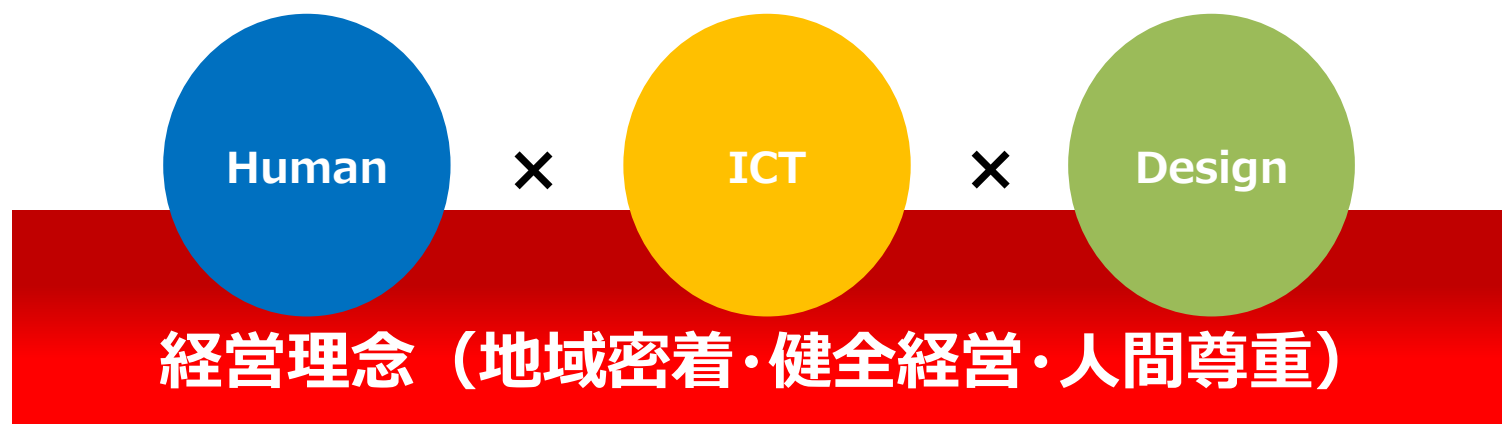
■ 「豊かな人間力と創造的開発力で、 未来をデザインする“ユニークバンク”」

“豊かな人間力”とは、柔軟な発想力を持ち、親身になって考動できるチカラ。

“創造的開発力”とは、ICTの創造的な利活用によって、仕事やサービスの仕組みを開発するチカラ。

“未来をデザインする”とは、この10年で激変するだろう経済、社会、暮らしで、私たちの、地域の、未来を共創すること。

他とは差別化された優位性を持たないと生き残れない、他にはない「Unique」な、おもしろい、わくわくする、そんな“ユニークバンク”を私たちは目指します！



「Design The Future : 2023」～お客さまの“今”を支え、ともに“明日”を拓く～ 2020/4～2023/3

成果

コロナ禍でお客様の相談業務に注力した結果、貸出金の残高が過去最高に伸ばしました

課題

より高度なコンサルティングでお客様の課題解決に注力するための業務改革や体制整備は道半ばにあります

ポートフォリオ戦略に基づく収益強化

- 新型コロナ関連融資への積極対応
- 住宅ローン新商品「ASUMO」のヒット
- 貸出金残高が過去最高を更新

持続可能な営業体制の再構築

- 店舗網の再構築（実店舗 1 割削減）
- 若年層、キャッシュレス進行に想定した多機能型ATMの設置

経営と営業の Quality強化

- 監査等委員会設置会社への移行
- IRの推進、個人株主の拡充
- 事業性評価PDCAサイクルの運用

働きがい×やりがい×モチベーション

- ユニークバンクに向けた人事ビジョンの策定
- 多様な人財が活躍できる人事制度の導入
- キャリアチャレンジ制度の活性化

Human×ITによる顧客利便性の向上

- デジタル戦略室の設置
- 非対面取引の拡充等、DX戦略の推進
- 金融サービスプラットフォームへの参画

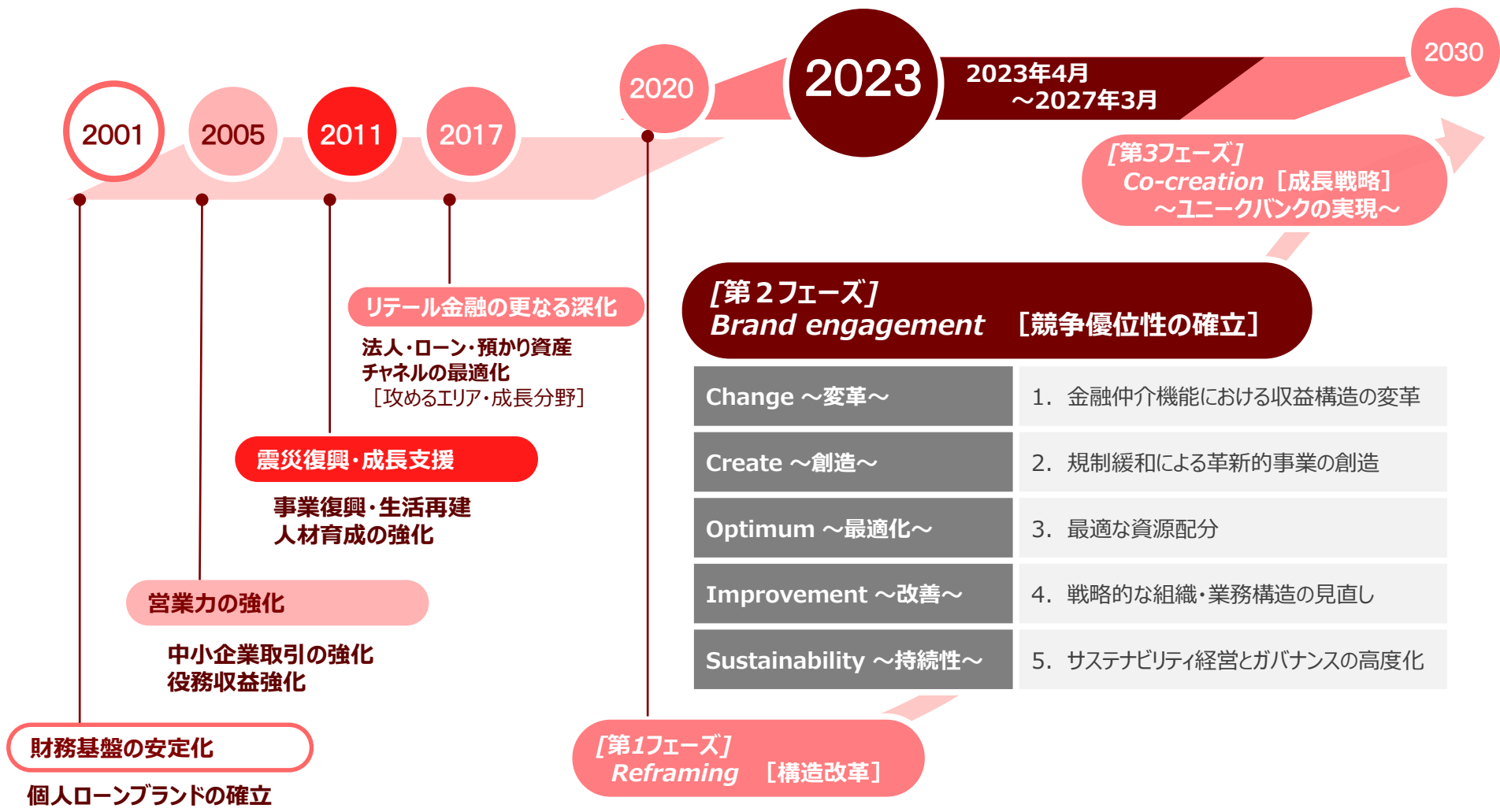
イノベーションのジレンマに陥らない

- 行内ビジネスアイデア企画の実施
- 地域企業との共同開発プロジェクトの実施
- きたぎんYouTubeチャンネルの開設

指標	項目	2023/3末 中計最終年度目標	2023/3末 実績	自己評価
収益性指標	経常利益	30億円以上	32億円	○
	当期純利益	20億円以上	25億円	○
効率性指標	修正OHR	80%未満	72%	○
健全性指標	自己資本比率	8.2%以上	8.6%	○

BRANDING THE KITAGIN QUALITY 2027

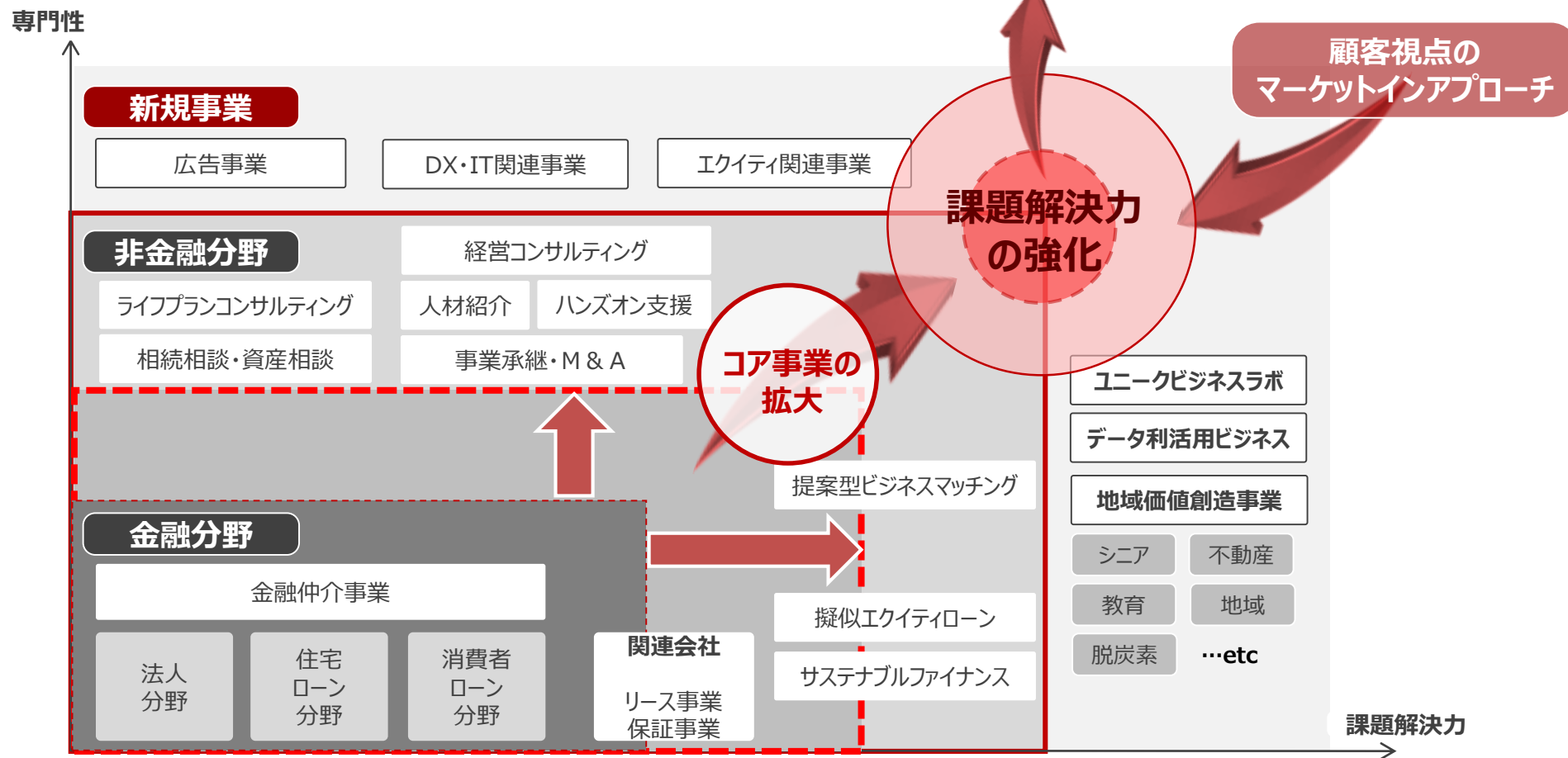
～サステナブルな未来をともにつくる、課題解決の金融事業会社～



ビジネスモデル ～コア事業の拡大～

仲介依存から顧客最優先志向の主体的実践へ

- 企業や個人の一人ひとりに寄り添う主体的な課題解決の実践
- 行動量の増加による金融仲介機能を中心としたコア事業の拡大
- 顧客視点のマーケットインアプローチによる地域の経済循環の創出



ユニークな発想ができる銀行
サステナブルな未来をともにつくる、
課題解決の金融事業会社

顧客視点の
 マーケットインアプローチ

課題解決力
 →

BRANDING THE KITAGIN QUALITY 2027

～サステナブルな未来をともに作る、課題解決の金融事業会社～

I. 事業戦略	法人営業	<ul style="list-style-type: none"> 顧客起点の付加価値の高いコンサルティングとソリューション提供 行動量の増加、重点領域・メイン取引推進 		
	リテール営業	<ul style="list-style-type: none"> ライフサポートコンサル（相続、資産形成等） 住宅ローン専門相談拠点の体制強化 非対面チャネルの更なる充実 		
	店舗戦略	<ul style="list-style-type: none"> 法個一体型営業拠点・体制 オーダーメイド・ワンストップ相談 		
	市場運用	市場運用の高度化と安定収益の確保		
	新事業	規制緩和・新事業の研究・事業化	DX・CX戦略	
II. DX戦略	業務効率化	ペーパーレス	データ利活用ビジネス	
			店舗業務のスリム化	
III. 人財戦略	人財育成	キャリア・ジョブローテーション	戦略的 出向	専門人財育成
		エンゲージメントの向上		
IV. SX戦略	脱炭素	CO2排出量削減		
	地域社会	地域貢献	スポーツ振興	金融教育
	ガバナンス	リスク管理	資本政策	

事業戦略KPI

法人向け課題解決のオーダーメイド型支援

- 事業理解を踏まえた迅速かつ多様な金融仲介機能
- 企業やその従業員の一人ひとりに寄り添う課題解決営業
- 自らの体験で得た知見、ノウハウを価値あるサービスに変え、提供するコンサルティング支援体制

個人向けゴールベースアプローチに基づく提案

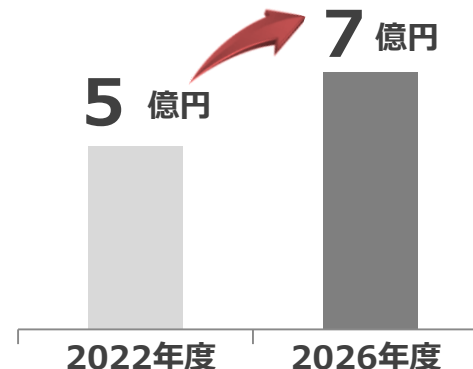
- 住宅ローン利用先の複合取引の推進
- 新NISAを含む資産形成のライフプランサポートの強化
- 新アプリ「Wallet+」等を活用した顧客体験価値と顧客利便性の向上

サステナブルファイナンス

2026年度までに

1,000 億円
実行

法人役務収益



住宅ローン

2026年度までに

2,000 億円
実行

ライフプラン活用件数

2026年度までに

5,000 件/年
活用

人財・DX・SX戦略KPI

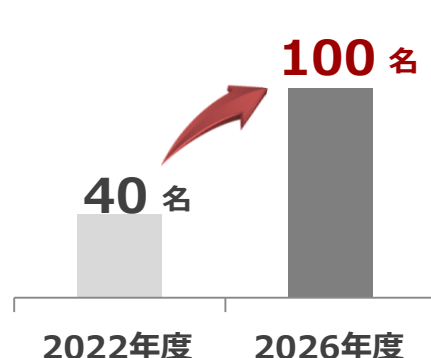
顧客最優先志向を支える人財育成

- 多様な自律型人財の育成とエンゲージメントの向上
- 事業性・リテールなど分野毎の顧客志向の教育カリキュラム
- 戦略的出向やキャリアローテーションによる専門人財育成

顧客利便性の向上と営業店の事務負担軽減

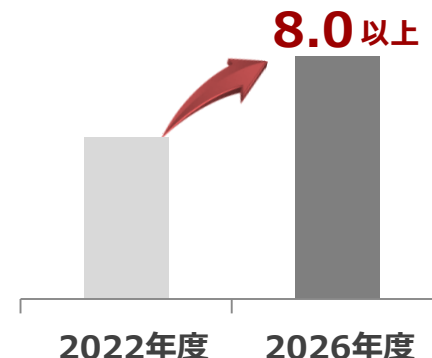
- リテール分野の専門相談拠点集約による相談体制の強化
- DX戦略推進による非対面チャネルのさらなる強化
- 窓口業務の効率化・ペーパーレス化による事務負担軽減

多様性人財数 (*1)



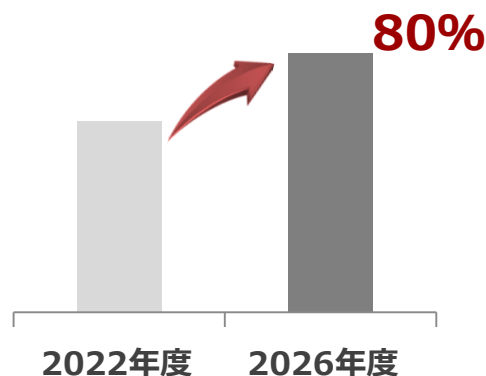
(*1) 出向、異業種勤務、副業等、多様な経験を持つ行員数

エンゲージメント指数 (*2)



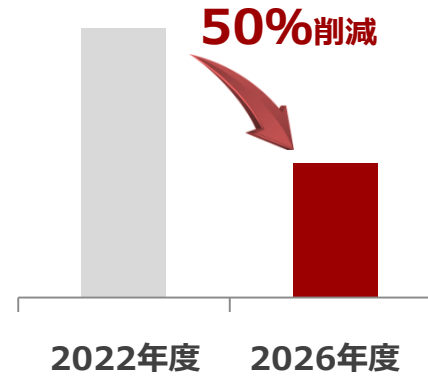
(*2) 従業員アンケートにおいて当行への好意的回答を指標化したもの(10.0が最大値)

個人ローン非対面申込割合 (*3)



(*3) 個人ローンにおけるアプリ、Webサイトなどによる申込の割合

営業店事務負担 (*4)



(*4) 営業店事務負担 = 業務時間 - 営業に要した時間

経営指標

指 標	項 目	2027/3末 最終年度目標
収益性指標	経常利益	40億円以上
	当期純利益	30億円以上
効率性指標	修正OHR（*）	75%未満
健全性指標	自己資本比率	8.5%以上

※なお、今後も当期純利益の増加を図るとともに、ROE向上にも取り組んでいく方針であり、中長期的にはROE 5%以上を目指してまいります。

参考：ROE推移

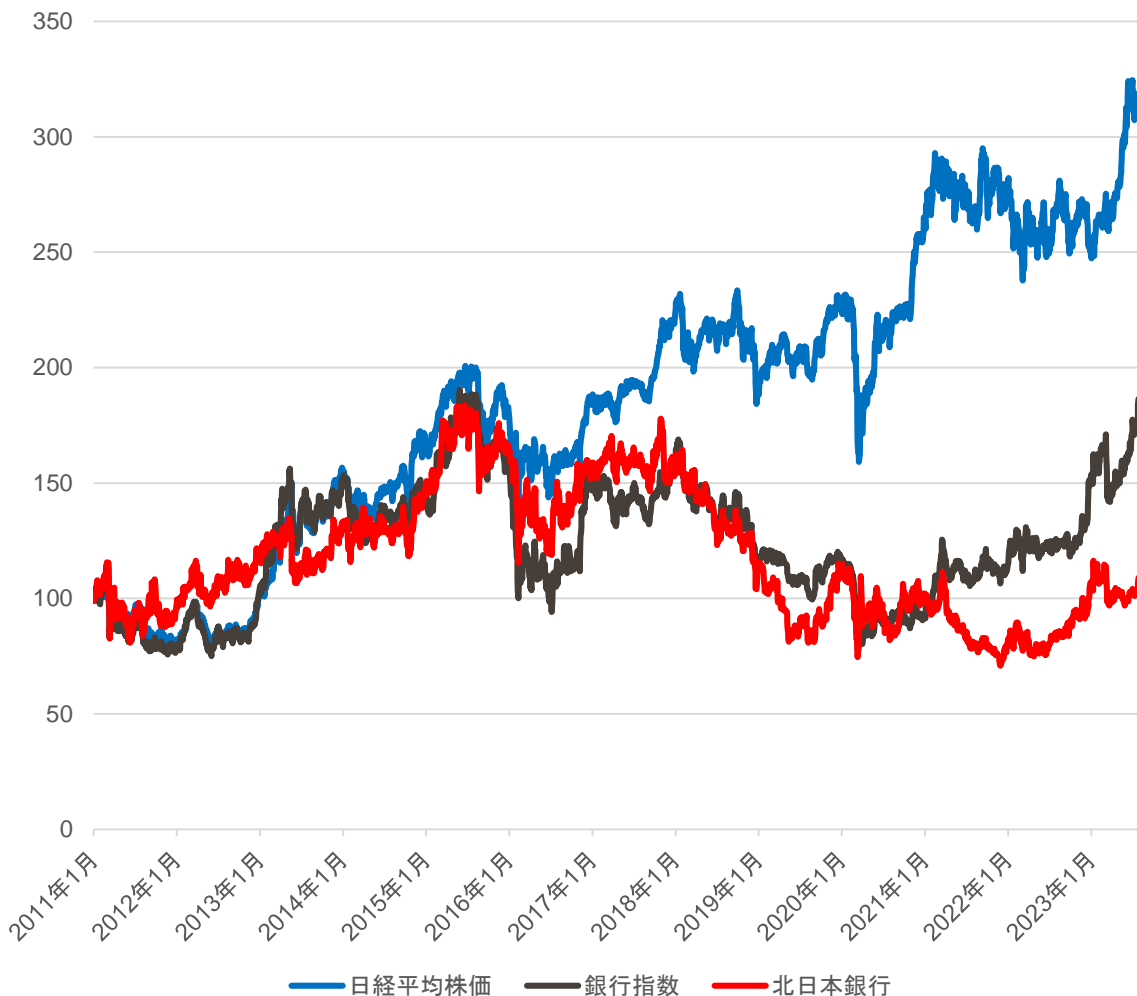
	2021/3末	2022/3末	2023/3末
ROE【単体】	2.11%	3.09%	3.55%

（*）修正OHR(%) = 営業経費 ÷ 業務粗利益(国債等債券損益を除く) × 100 【営業経費の業務粗利益に占める割合で、銀行の効率性を示す指標】

4.株式関連情報

株価推移

※2011年1月4日を100とした株価指数



株価指数 (2023年7月31日現在)

株価	2,173円
PBR	0.24倍
PER (予想)	7.9倍
配当利回り (予想)	2.76%

配当政策

	21/3期末	22/3期末	23/3期末
1株あたり年間配当金	50円	60円	60円
配当金総額	422百万円	505百万円	504百万円
配当性向	27.7%	24.1%	18.9%
自己株式取得額	—	167百万円	—
総還元性向(*)	27.7%	31.8%	18.9%

《参考》

	21/3期末	22/3期末	23/3期末
当行株価	2,004円	1,577円	1,984円
株主数	8,491名	10,269名	10,752名

(*) 総還元性向 = (配当金総額 + 自己株式取得額) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益
【企業が得た利益をどれくらい株主に還元しているかを示す指標】

▶ 「株主優待定期預金」の他、「地場特産品」や「いわての学び希望基金への寄附」を対象に加えた株主優待制度。

株主優待制度

北日本銀行 選べる株主優待制度のご案内

地場特産品 プレゼント!

北日本銀行は株主優待制度で、東日本大震災の復興に貢献します。

また、**株主優待定期預金ご優待券**

「いわての学び希望基金」へのご寄附もできます。

【株主優待定期預金】

株主優待定期適用金利：店頭表示金利+0.2%(年利)

保有株式数	いずれかを選択		
	株主優待定期預金		カタログ特産品
	進呈枚数	預入限度額	お選びいただける特産品
100~499株	3枚	300万円	3,000円相当の特産品 または寄附金
500~999株	4枚	400万円	
1,000株以上	5枚	500万円	6,000円相当の特産品 または寄附金

【地場特産品(2023年度一例)】

3,000円相当の特産品は62種類、

6,000円相当の特産品は46種類、からお選びいただけます



※写真はイメージです。

三陸産 甘塩うに 60g×2本セット 数量限定 **100個**

全て岩手県産の三陸の豊かな海で育つうにを使用しています。塩以外は完全に無添加という昔ながらの製法です。さらに、浸透圧を考慮した独自の配合比で、じっくりと旨味を引き出しました。



※写真はイメージです。

岩手県産 金色の風・銀河のしづくセット

岩手県のオリジナルブランド米。ふわりとした食感豊かな甘みの「金色の風」と白くてつややか、かるやかな食感「銀河のしづく」のセットです。



※写真はイメージです。

白金豚しゃぶセット

天然のミネラルウォーターを飲み、自然豊かな大地でのびのびと育まれた「白金豚(はっさんとん)」。きめこまやかな肉質と、やわらかくしっとりとした舌触り、脂身の旨さが特徴です。その繊細で上質な肉の美味しさを損なわないよう1枚1枚丁寧にスライスして、しゃぶしゃぶ肉に仕上げております。



※写真はイメージです。

前沢牛薄切り

岩手県奥州市の恵まれた自然、澄んだ水、清潔な環境と独自配合の飼料により、鮮やかな霜降り・とろけるような舌触り・そして風味、前沢牛はこの3拍子が見事に揃っている極上品です。すき焼きや、しゃぶしゃぶにしてお楽しみください。



※写真はイメージです。

海宝漬 漣(さざなみ)

厳選したいくら、ほたて、うに、めかぶを贅沢に使用した、ごはんのお供に、お酒の肴にぴったりな海宝漬です。解凍後は冷蔵で保存いただき、5日以内にお召し上がりください。



※写真はイメージです。

阿部の笹蒲鉾 かまぼこ詰合せ 二段-5

真鯛入りの噛み応えしっかりとしたプレミアムな「吟撰笹」をはじめ、なめらかなクリームチーズが入った「チーズボール」や「笹だより」「菜ころん」といったバリエーション豊かな阿部蒲鉾店定番が入ったお薦めの詰合せです。

株主優待制度対象：3月31日現在に当行株式100株を1年以上保有の株主様。

詳細はこちら
をご覧ください ⇒



5.サステナビリティ

5.サステナビリティ①

北日本銀行グループは、「地域密着」「健全経営」「人間尊重」を実践し、持続的な地域社会の実現に向け、サステナビリティ方針を定め、地域・社会価値、経済価値の向上を図る持続可能な経営を目指してまいります。

きたぎんグループSDGs宣言

地域社会への貢献

地域の文化活動への参加や、金融仲介機能の発揮を通して、地域経済の質の向上に取り組みます。

多様な人材の活躍 ダイバーシティの推進

全ての人が活躍できる組織に向けて、労働環境の整備、健康推進に取り組めます。

ESGへの取組み

地域における課題

E	環境	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出削減 ● 緑化推進
S	地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域振興 ● 地域経済活性化 ● ダイバーシティ推進
G	ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレートガバナンス ● 社会的責任 ● 公共的使命 ● IR活動の推進

環境問題への取組み

省エネルギー化の促進、再生エネルギーの活用を通じて、環境保全に取り組めます。

健全経営の実践

経営の透明性の向上やコンプライアンス強化に取り組めます。

きたぎんの取組み

- クールビズ・エコドライブ
- LED照明採用推進
- 太陽光発電の設置
- 緑化資金の寄付
- 金融教育の推進
- 地域行事への参加
- 地域スポーツへの参加
- 働き方改革推進
- 地域社会活動への参加
- 的確な情報開示

地域のスポーツ振興を支援



いわて盛岡ボールパークのネーミングライツを取得

盛岡市に2023年4月1日にオープンした新球場のネーミングライツ（施設命名権）を取得し愛称を「きたぎんボールパーク」としました。同施設は野球をはじめとしたスポーツはもちろん、全天候型の屋内練習場や大型木製遊具のキッズスタジアム等を整備し多目的に1年間を通して利用できるボールパークです。

また、当行は長年プロ野球公式戦の協賛をしており、今後も「きたぎんボールパーク」を通じて地域のスポーツ振興に取り組んでまいります。

きたぎん  ボールパーク

KITAGIN Ballpark

ジュニアサッカーフェスティバルの開催

1994年から「きたぎん杯ジュニアサッカーフェスティバル」を開催し、岩手県内外のチームの参加によりスポーツを通じて青少年の健やかな育成を支援しております。



ニュービジネスの応援



ニュービジネスコンテストの開催

コロナ禍において事業転換や新たなビジネスプランやビジネスモデルを検討している事業者や起業家向けのビジネスコンテストを昨年度に引き続き実施いたしました。第1回ビジネスコンテストで受賞した複数のビジネスプランは事業化し岩手県の新たなビジネスとなっております。



テーマ

withコロナ、afterコロナ時代の新環境に向けた
新たなビジネスプラン（新規事業）、
ビジネスモデル（事業転換、事業戦略）



【新規起業部門】

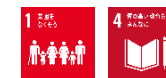
■ 最優秀賞
Green Neighbors Hard Cider 株式会社 様
(ビジネスプラン)
摘果りんごの発泡性果実酒とダブルルーム事業により、地域内循環とハードサイダー文化の中心地を目指す



【戦略転換部門】

■ 最優秀賞
筑波重工 株式会社 様
(ビジネスプラン)
林業特化型「車高調整式下草刈機」による林業機械市場への進出

地域社会への貢献



金融教育講座の開催

岩手県内の高校や大学の生徒・学生を対象に、金融知識の習得を目的として金融教育講座を開催いたしました。若年層の金融リテラシー向上を図り、地域の全ての人が安心して生活できる持続可能な社会の実現を目指してまいります。



5.サステナビリティ④

人的資本への取組み



多様性人財活躍の推進

職位、年齢、性別等に関係なく、社会的な目的を達成するために、誰でも気兼ねなく発言できる組織を目指し、多様な人材活躍する風土の醸成や女性活躍推進に取り組んでいます。

自律型人財の育成

自分自身の意思決定に責任を持ち、主体的に学び続ける「自律型人財」の育成に取り組んでおり、自立を育むためのキャリアデザインを実施しています。(組織に好影響を与える自律型アクションの例)

- ・立候補型研修への参加
- ・行内プロジェクトへの参加
- ・キャリアチャレンジ制度（社内公募）へのエントリー



エンゲージメントの向上

北日本銀行で働く全ての職員がずっと働きたいと思える、安心して自分らしく働ける職場環境の醸成にむけ、1on1ミーティングなどを通じて取り組んでいます。

指標及び目標

指標	目標	実績（2022年度末）
多様性人財数(*1)	2027年3月までに100人	40人
役席者に占める女性割合	2026年4月登用者 20%	14.1%
男性育休取得率	2025年3月までに100%	66.7%
エンゲージメント指数(*2)	2027年3月までに8.0以上	6.2

(*1) 出向、異業種勤務、副業等、多様な経験を持つ人材

(*2) 人事ビジョンに関するアンケート結果を指標として使用

ダイバーシティ推進への取組み



「プラチナくるみん」、「いわて女性活躍認定企業」の認定取得

当行は仕事と子育てを両立できる雇用環境整備を行っており、高い水準で取組みを行った特例認定企業として「プラチナくるみん」の認定を受けております。

また、「いわて女性活躍企業認定制度」において、「いわて女性活躍認定企業（ステップ2）」に認定されております。



「健康経営優良法人」の認定

経済産業省及び日本健康会議が実施している「健康経営優良法人認定制度」の大規模法人部門「経営優良法人」に、2018年の認定以降、5回認定されております。



環境問題への取組み



環境保全への取組み

クールビズやエコドライブを実施するなど地球温暖化の原因である二酸化炭素排出削減に取り組んでおります。また、不要になった文書類については、地球環境保護の観点からリサイクル業者に持込み、再生紙の原料として提供しております。2005年度より取組み、2021年度は103トンのリサイクルし、これまでの総量は912トンになります。(1トンで立木20本を保護したことになります。)

1. 2023年3月期は2期連続の増収増益決算。有価証券運用も堅調に推移しております。
2. 私たちは、豊かな人間力と創造的開発力で、未来をデザインする“ユニークバンク”を目指します。
3. 「サステナブルな未来をともにつくる、課題解決の金融事業会社」として顧客最優先志向で地域に貢献してまいります。

6.各種計数

6.各種計数(損益)

(単体ベース)
(単位：百万円)

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	第二	四半期	第二	四半期	第二	四半期	第二	四半期	第二	四半期
経常収益	10,358	19,606	9,657	18,849	9,171	18,786	9,921	19,985	10,033	20,006
コア業務粗利益	7,863	15,413	7,532	14,727	7,372	15,135	7,971	16,312	8,034	16,321
うち資金利益	7,953	15,592	7,737	15,088	7,614	15,183	8,012	16,062	8,104	16,042
うち貸出金利息	6,087	12,154	5,967	11,889	5,888	11,812	5,955	12,056	6,090	12,260
うち有価証券利息配当金	1,898	3,483	1,777	3,223	1,769	3,371	1,985	3,713	1,904	3,593
うち役務取引等利益	△ 156	△ 290	△ 228	△ 396	△ 259	△ 153	△ 56	163	△ 110	236
経費 (△)	6,496	12,701	6,279	12,411	5,968	11,849	5,845	11,789	5,855	11,761
コア業務純益	1,367	2,712	1,253	2,315	1,404	3,285	2,126	4,523	2,178	4,559
一般貸倒引当金繰入額 (△)	-	△ 65	-	190	24	73	277	1,110	-	982
業務純益	1,315	2,679	1,261	1,979	1,361	3,325	1,842	2,542	2,032	2,922
うち国債等債券損益	△ 51	△ 98	8	△ 145	△ 17	112	△ 6	△ 870	△ 146	△ 654
臨時損益	612	△ 96	232	136	△ 22	△ 707	187	260	320	375
うち不良債権処理額 (△)	8	323	20	△ 75	60	986	△ 47	37	4	△ 15
うち貸倒引当金戻入益	520	-	177	-	-	-	-	-	93	-
うち償却債権取立益	48	116	22	61	25	64	16	42	15	50
うち株式等関係損益	47	△ 94	54	△ 172	△ 31	81	22	△ 119	29	△ 36
経常利益	1,928	2,582	1,494	2,115	1,339	2,617	2,030	2,802	2,352	3,298
特別損益	△ 72	△ 96	△ 259	△ 55	△ 170	△ 247	△ 26	△ 159	△ 22	△ 53
税引前当期(中間)純利益	1,856	2,485	1,234	2,060	1,169	2,369	2,003	2,642	2,330	3,244
法人税等 (△)	747	1,052	504	911	314	906	529	412	650	668
当期(中間)純利益	1,108	1,433	729	1,148	854	1,463	1,474	2,229	1,679	2,576

(単位：億円)

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期	
預金総額(譲渡性預金含む)	13,637	13,493	13,469	13,169	14,126	13,955	14,290	14,015	14,317	14,045
預金	13,607	13,463	13,439	13,139	14,096	13,925	14,260	13,985	14,287	14,015
個人預金	9,712	9,651	9,638	9,682	9,901	10,049	10,156	10,200	10,255	10,238
法人預金	3,220	3,225	3,207	3,159	3,642	3,658	3,672	3,557	3,611	3,535
公金・金融機関	674	586	593	297	552	217	431	227	420	241
譲渡性預金	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30

「地域別預金残高」

(単位：億円)

岩手県	10,666	10,522	10,535	10,268	11,035	10,839	11,106	10,950	11,167	10,980
青森県	457	470	444	438	461	467	469	454	454	443
秋田県	256	193	195	189	201	207	218	209	215	203
宮城県	1,672	1,696	1,737	1,718	1,840	1,861	1,903	1,820	1,894	1,850
福島県	253	247	235	222	251	243	245	236	242	235
東京都	301	333	290	301	305	305	316	313	311	302

「預金先数」

(単位：先)

預金全体	291,263	284,898	280,729	274,853	267,725	262,383	260,894	257,321	255,655	252,370
法人・個人事業主	28,129	27,698	27,461	27,231	26,786	26,312	26,142	25,816	25,594	25,123
個人	259,953	254,057	250,072	244,466	237,796	232,970	231,640	228,468	227,021	224,262
その他	3,181	3,143	3,196	3,156	3,143	3,101	3,112	3,037	3,040	2,985

(単位：億円)

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期	
貸出金総額	9,144	9,110	9,030	9,067	9,341	9,505	9,779	10,069	10,232	10,414
事業性貸出金	4,790	4,757	4,656	4,711	4,981	5,083	4,948	4,998	4,928	4,993
個人ローン	3,443	3,486	3,517	3,540	3,546	3,669	4,070	4,365	4,592	4,775
住宅ローン	3,151	3,187	3,218	3,239	3,251	3,379	3,782	4,081	4,310	4,492
その他ローン	292	298	299	300	294	289	287	283	282	282
地公体貸出	910	867	856	816	813	752	761	706	711	644

「地域別貸出残高」

(単位：億円)

岩手県	6,204	6,151	6,055	6,049	6,218	6,314	6,349	6,438	6,427	6,465
青森県	447	454	445	444	459	465	471	486	481	493
秋田県	162	139	138	136	145	149	176	204	232	252
宮城県	1,654	1,680	1,704	1,769	1,849	1,918	2,127	2,294	2,444	2,558
福島県	147	159	162	165	180	186	200	206	218	239
東京都	527	524	523	503	487	471	453	439	427	404

「貸出先数」

(単位：先)

貸出金全体	69,194	68,933	68,881	68,037	66,523	66,055	66,325	66,296	66,140	65,876
大企業・中堅企業	231	226	229	227	221	216	205	206	209	205
中小企業	5,947	5,861	5,839	5,780	6,009	6,156	6,058	6,123	6,004	6,063
個人	63,016	62,846	62,813	62,030	60,293	59,683	60,062	59,967	59,927	59,608

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。
本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画対比異なる可能性があることにご留意ください。

【問合せ先】

北日本銀行 経営企画部

TEL 019-653-1111

FAX 019-651-1951

[URL:https://www.kitagin.co.jp/inquiry/](https://www.kitagin.co.jp/inquiry/)

本件資料に関するご意見・お問合せは、上記URL(お問合せフォーム)にてお受付致します。